



君の臍臓すいぞうをたべたい

「たべていいよ」

とまどう僕に

あの日の君が微笑む

君に送った1行だけのメール

返信のないまま

僕は大人になった

あの時、

君に伝えたかった想いと

君が伝えたかった想い――

一生をかけて

一瞬をともに生きた

君と僕との記憶の宝探しが

いま、はじまる



浜辺美波 北村匠海

大友花恋 矢本悠馬 桜田通 森下大地 / 上地雄輔

北川景子 / 小栗旬

原作：住野よる『君の臍臓をたべたい』(双葉社刊) 監督：月川翔 脚本：吉田智子 音楽：松谷卓 / 追加編曲：伊藤ゴロー
主題歌：Mr.Children『himawari』(TOY'S FACTORY)

製作：市川南 共同製作：村田雄輝 原簿：久保菜穂子 山本 高橋誠 吉川真作 藤野真朗 荒瀬 修 林 誠 清水美成
エグゼクティブプロデューサー：山内康徳 企画：山内康徳 企画プロデューサー：山内康徳 総務：フジテレビ・藤野真朗 ライフライン・藤野真朗 関谷 伸行
撮影：柳田新州 美術：五辻 圭 録音：久野貴司 照明：加藤特史 編集：藤垣昭之助 助監督：二宮孝平 製作担当：廣崎林太郎 音楽プロデューサー：北原宏子 プロダクション統括：佐藤 泰
製作：東京 博報堂DYエンタテインメント・双葉社 ジェイアール東日本企画 博報堂 KDDI 日本出版販売 トライストーン・エンタテイメント S-D・P 東急エンタテインメント GYAO トーパン
製作プロダクション：東京映画 配給：東京 エグジカル・サウンドトラック：WARNER MUSIC JAPAN ©2017『君の臍臓をたべたい』製作委員会 ©住野よる/双葉社

7.28 (金)
全国ロードショー

ラスト、きっとこのタイトルに涙する。

kimisui.jp



ラスト、きっとこのタイトルに涙する——

Introduction

刺激的なタイトルからは想像も出来ない物語の美しさと展開に、若い女性層を中心に“泣ける小説”として口コミが広がり、2016年本屋大賞第2位、Yahoo!検索大賞2016小説部門賞受賞など、瞬く間にベストセラー小説となった「君の^{すいぞう}臍臓をたべたい」がこの夏、遂に実写映画化します。重い臍臓の病を患うヒロイン・山内桜良に浜辺美波。桜良の病気を唯一知ることになるクラスメイトの【僕】役には北村匠海。これからの活動に目が離せないフレッシュな2人が、儚くも美しい高校時代を瑞々しく演じます。さらに映画では、原作には無い12年後の《現在》が描かれ、《過去》と《現在》の2つの時間軸が交錯しながら物語が進んでいきます。そんな《現在》パートで教師となった【僕】に小栗旬、桜良の親友【恭子】を北川景子が演じ、物語を大きく揺り動かします。主題歌はMr.Childrenの新作「himawari」。心を揺さぶる情感溢れるメロディが感動のラストを彩ります。

誰もが想像出来ない結末と、タイトルに隠された本当の意味を知った時、あなたはきっと涙します——。



Story

高校時代のクラスメイト・山内桜良（浜辺美波）の言葉をきっかけに母校の教師となった【僕】（小栗旬）。

彼は、教え子と話すうちに、彼女と過ごした数ヶ月を思い出していく——。

臍臓の病を患う彼女が書いていた「共病文庫」（＝闘病日記）を偶然見つけたことから、

【僕】（北村匠海）と桜良は次第に一緒に過ごすことに。

だが、眩いまでに懸命に生きる彼女の日々はやがて、終わりを告げる。

桜良の死から12年。

結婚を目前に控えた彼女の親友・恭子（北川景子）もまた、

【僕】と同様に、桜良と過ごした日々を思い出していた——。

そして、ある事をきっかけに、桜良が12年の時を超えて伝えたかった

本当の想いを知る2人——。

7.28 (金) 全国ロードショー

劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です。
映画情報の提供は
www.eigakan.org
0120-550098
©2017 東宝株式会社